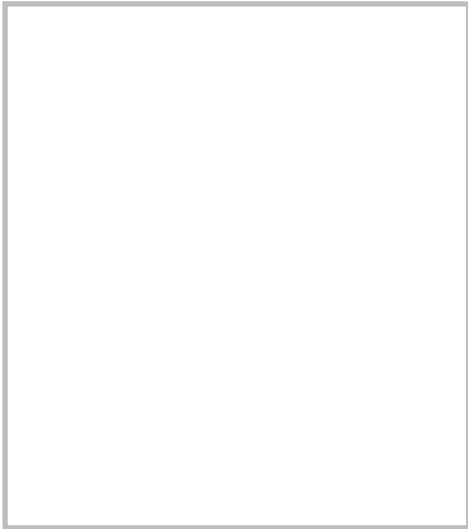




図 19.22 匙状爪 (spoon nail)

図 19.23 先天性爪甲肥厚症 (pachyonychia congenita)
母親 (上) と子 (下) に生じた爪甲変形。図 19.24 爪甲横溝 (transversal groove)
月1回の化学療法により、横溝 (ボー線) が多発している。

4. 爪甲脱落症 onychomadesis, nail shedding

爪甲剥離症とは逆に、爪根部から末梢側へ爪の剥離が進み、ついには脱落する。特発性のももあるが、外傷や爪囲炎、乾癬、扁平苔癬、梅毒、紅皮症などで生じることもある。爪甲横溝が著しくなった場合でも生じる。

5. 爪甲肥厚症 (厚硬爪甲) pachyonychia

爪甲自体が厚くなるか、あるいは爪甲下の過角化で肥厚した状態である。爪甲の伸びが妨げられて分厚くなる。先天性のものはケラチン 6A, 6B, 16, 17 の遺伝子の変異が原因である [先天性爪甲肥厚症 (pachyonychia congenita), 図 19.23]。分厚く彎曲した状態を爪甲鉤彎症 (onychogryphosis) といい、高齢者の母趾に好発する。

6. 爪甲縦溝 longitudinal groove

爪甲を縦に走る線条である。老人性変化の一つとしてみられることが多い。進行すると爪甲縦裂症 (onychorrhexis) という爪甲が縦に割れやすい状態となる。外傷、湿疹、強皮症、貧血などでみられる。

7. 爪甲横溝 transversal groove

横に溝が走った状態をさし、爪母に何らかの障害が生じて、爪甲の成長が一時的に抑制された結果である。溝の幅は障害の期間を、溝の深さは障害の強さを意味する。外傷など局所的原因では侵される爪に限られるが、内因性で生じたものではすべての爪に生じる [ボー線 (Beau's lines), 図 19.24]。発熱性疾患、感染症、糖尿病、薬剤、出産、亜鉛欠乏症などが原因となる。

8. 点状陥凹 nail pitting

爪甲に針でつついたような点状の凹窩が多発する。乾癬や円形脱毛症 (図 19.25) でみられるほか、健常人にも生じることがある。

9. 爪甲層状分裂症 onychoschizia

爪の先端が細かく鱗状に層状分離をきたして、割れやすくなっている状態である。爪甲の水分低下によるとされ、冬季に好